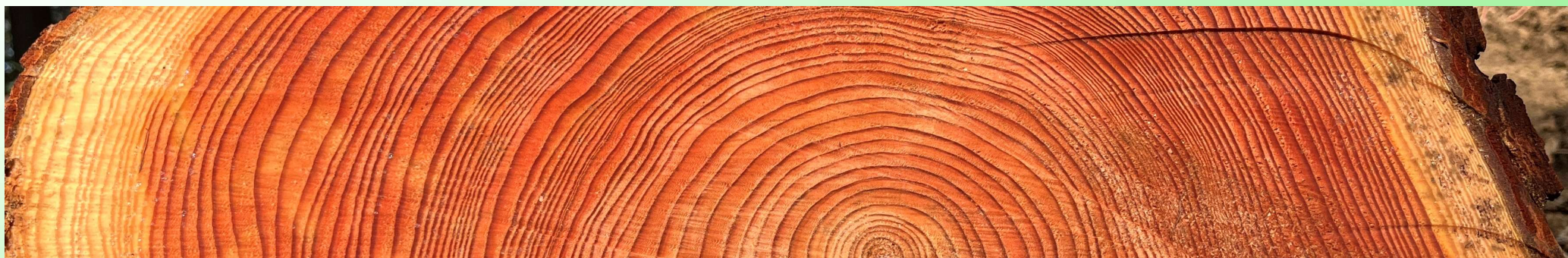


～ ゼロカーボンを森林資源から ～

地域資源について考える



「主役は私たち！ ～南信州が目指す未来に必要な行動とは～」
ゼロカーボンミーティングin南信州 2024

飯伊森林組合



取組みの柱

① 森林、木材と社会・山主と消費者をつなぐ

自然環境に配慮した森林整備、木材の生産強化を！

② 技術・知識を次世代へ

林業は一世代にしてならず！

知識・技術を受け継ぎ深める

飯伊森林組合

森林林業の重要性・価値

- **炭素の固定**

別途動力や化学物質等を必要としない、炭素を木材として固定できる確実な方法

- **水土の保全**

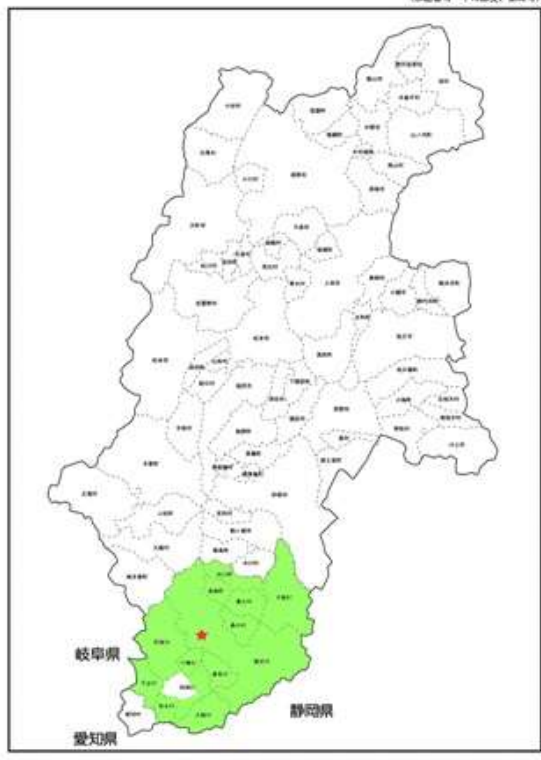
水源を守り、減災防災のほか水力発電等に使う水資源を安定させる効果（水源のかん養機能）



飯伊森林組合

組合概要

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国院発行の数値地図20000（地図図像）を使用したものである。
（承認番号 平19総発、第2号）



・ 飯伊（はんい）森林組合

飯田、下伊那（根羽村、阿南町和合を除く）
を管内とする森林林業の協同組合

旧市町村ごとに、17の事業所の他、5施設、
計22施設を持つ

事務職員 62名 現場職員 73名

飯伊森林組合

林業の現状

- 技術者の減少
 - ⇒ 維持管理が追い付かない
 - ⇒ 必要な間伐等ができない
 - ⇒ 木材生産量の減少

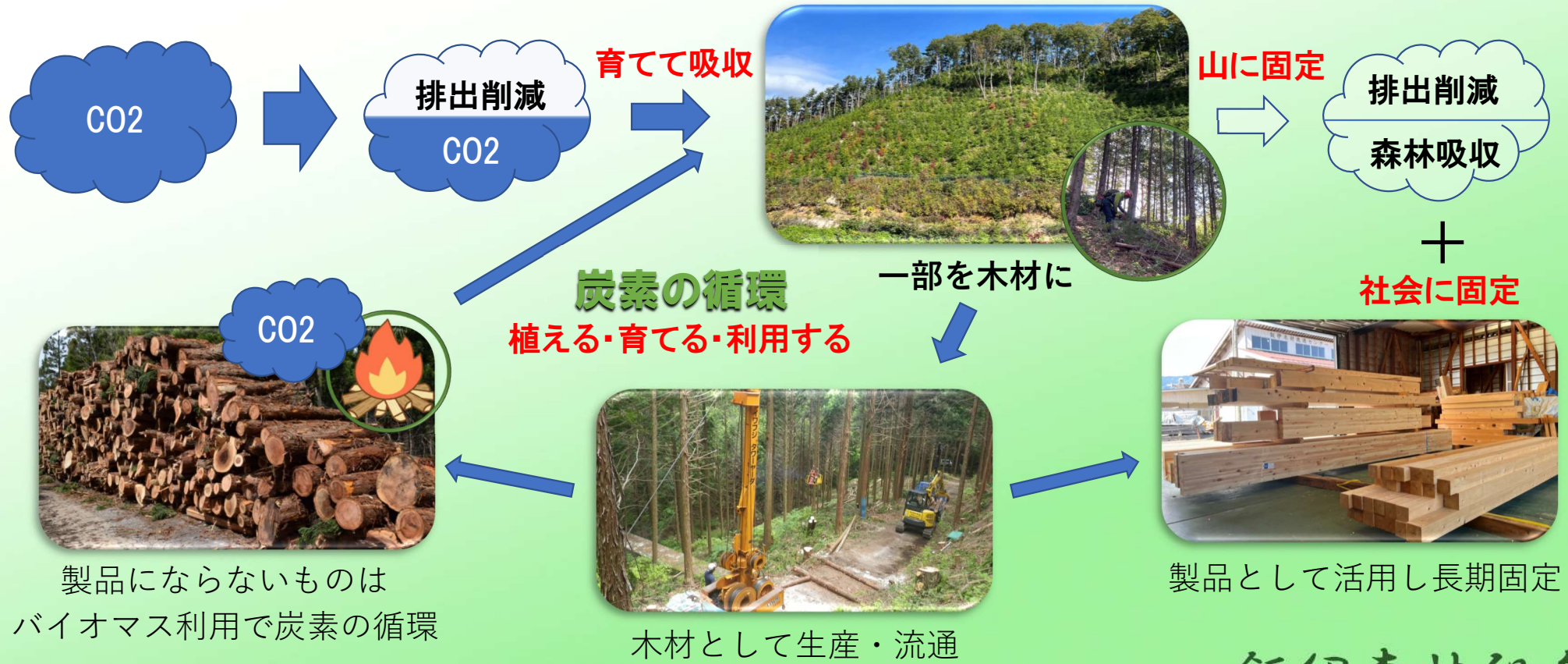
植えただけではだめ
森林は循環させることが必要

課題 ⇒ 資源の長期確保・保全



飯伊森林組合

育てて吸収・使って固定



飯伊森林組合

技術向上の取組み

・ 木材生産能力の向上

技術習得・デジタル化による可視化・省力化を推進
木材の生産能力向上を達成・継続します！

技術者不足
どうする？



本架線講習
伊那谷に合った生産方法を！



GNSS測量機・ドローン等
デジタル機器による省力化

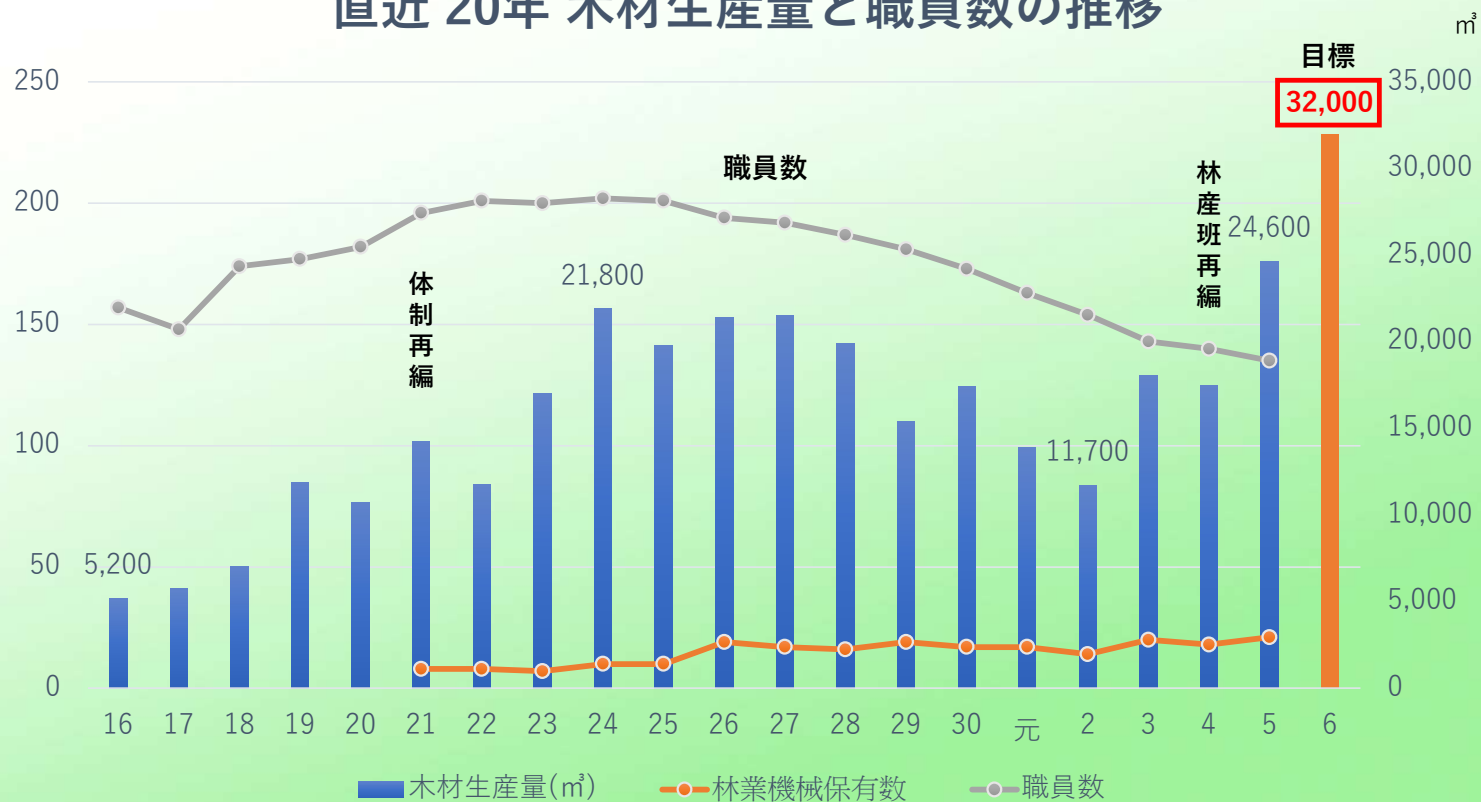


GISによる可視化・効率化

飯伊森林組合

木材生産能力の強化

直近 20年 木材生産量と職員数の推移



◎ **平成21年(2009)**
事業所体制の大幅再編
林産班の増強

◎ **令和4年(2022)**
林産(木材生産)事業を
再編・集約
専従部門とし効率化

事務職員 7名
現場職員 23名

飯伊森林組合

建材以外の木材も

- 燃料用としての木材
～木質バイオマス～

生産強化!

枝・葉などの林地未利用材や、製材工場などから発生する樹皮や端材



木材チップ



樹皮 (バーク)



チップ用材

積極的に生産・供給します

飯伊森林組合

社会に「届ける」 そのために

・ 木材の供給体制の構築 木材流通センター

当組合は森林整備や木材生産にとどまらず、木材共販所、木材加工所及びプレカット工場を擁し、地域産材の流通を促進します！



木材共販所（土場）
令和6年度に拡張工事着手
従来の1.5倍の面積に



木材加工場
プレカット工場



木材運搬車両
令和6年度追加導入

飯伊森林組合

おわりに

当組合は、一連の取組を通じて森林・木材が本来持つ**価値**を所有者の方や地域社会に還元し気運を高め知ってもらうことで、将来にわたってバランスの取れた地域環境や資源の循環を達成し、脱炭素社会が実現できるよう邁進いたします。



飯伊森林組合